

ローカル5Gの概要

- ローカル5Gは、地域や産業の個別のニーズに応じて**地域の企業や自治体等の様々な主体が、自らの建物内や敷地内でスポット的に柔軟に構築**できる5Gシステム。

<他のシステムと比較した特徴>

- 携帯事業者の5Gサービスと異なり、
 - 携帯事業者によるエリア展開が遅れる地域において5Gシステムを**先行して構築**可能。
 - 使用用途に応じて**必要となる性能を柔軟に設定**することが可能。
 - **他の場所の通信障害や災害などの影響を受けにくい。**
- Wi-Fiと比較して、**無線局免許に基づく安定的な利用が可能。**

ゼネコンが建設現場で導入
建機遠隔制御



建物内や敷地内で自営の5Gネットワークとして活用

建設現場での活用

建機遠隔制御



スマート工場

工場での活用



インフラ監視

スマート農業

農業での活用



農家が農業を高度化する
自動農場管理



自治体等が導入
河川等の監視

河川監視

防災現場での活用



センサー、4K/8K

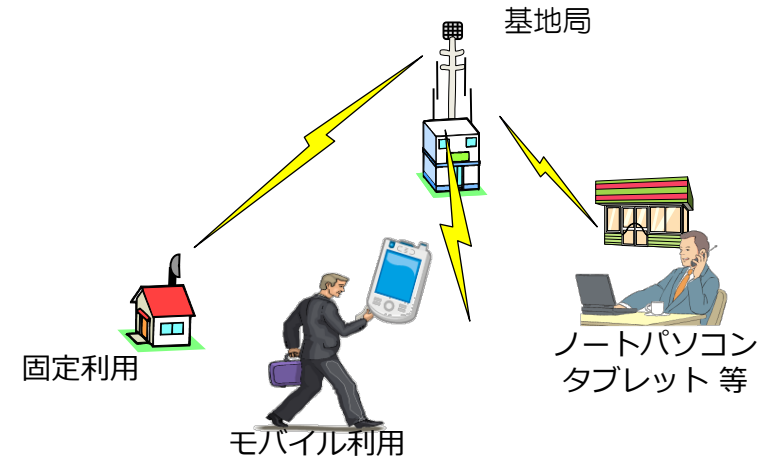


BWA（広帯域移動無線アクセス）システムの概要

■ BWA（広帯域移動無線アクセス）システムの特徴

- 無線通信技術として、国際的な標準規格であるWiMAXやAXGPを利用。
- 固定光回線並みの高速通信（下り最大220Mbps（※））が実現可能。
- 1つの基地局で広域をカバー可能（半径2～3Km）。

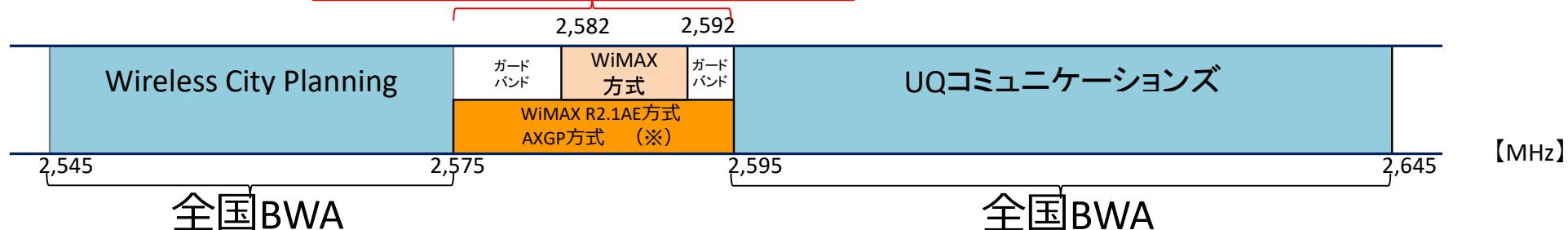
（※） 20MHz幅システムで4×4 MIMOを使用した場合。



■ BWA（広帯域移動無線アクセス）システムとして、以下の3つの区分を制度化。

- 全国BWA：日本全国において公衆向け高速データ通信を行うサービス
- 地域BWA：市町村においてデジタル・ディバイドの解消、地域の公共サービス向上等に資する高速データ通信を行うサービス
- 自営BWA：地域BWAが利用されていない特定のエリアでLTEを利用できるローカル無線通信サービス

地域BWA、自営BWA



※ 国際的な標準化プロジェクトである3GPPによって策定された『TDD-LTE』と互換性のある方式